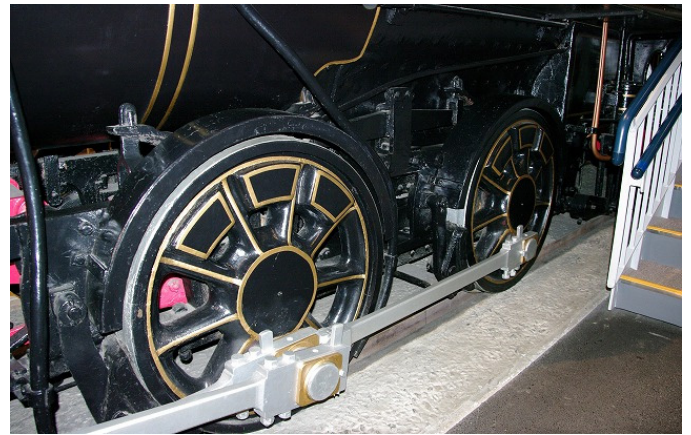
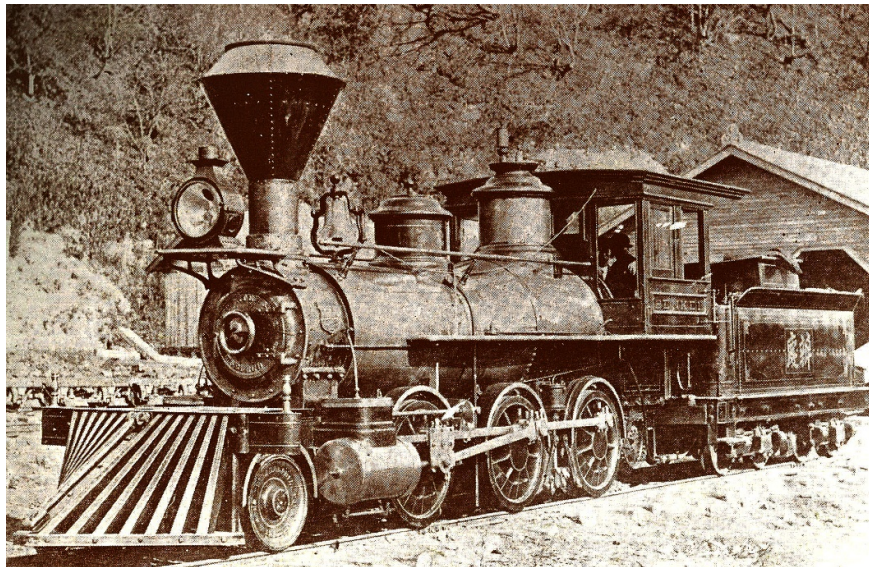


義経仕様の予約が、ほとんどなのですが。

結構、大変、面倒な事に成って来ました。7100型。US ポーター仕様、義経仕様、弁慶仕様、しづか仕様の振り分けですが、流石にプロタイプ(原型)は、資料が豊富で、歴史的にも正しい「義経」に求めたので、国内のお客様に名が通っているのは、「弁慶」ですが、ほぼ予約は『義経』になっています。が！ここに来て2名だけだった「しづか」仕様の予約が！増えそうです。勿論、皆様北海道のお客様で、鉄博の弁慶は、下の写真のオリジナルとは、全く異なり。要は、フランケンシュタイン。業平(なりひら)比羅夫(ひらふ)光圀(みつくに)信廣(信広/のぶひろ)の

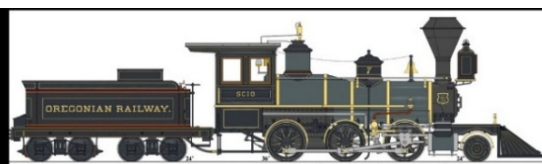
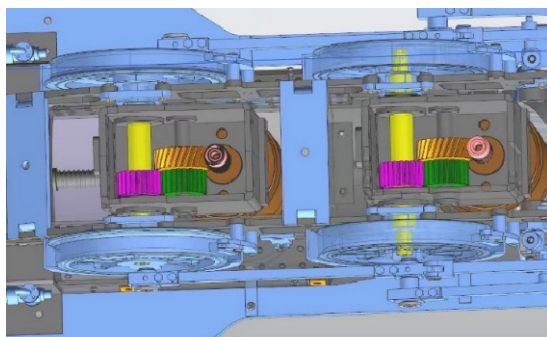


鉄博にある弁慶の動輪↑=弁慶/ポーター社のオリジナルではない！



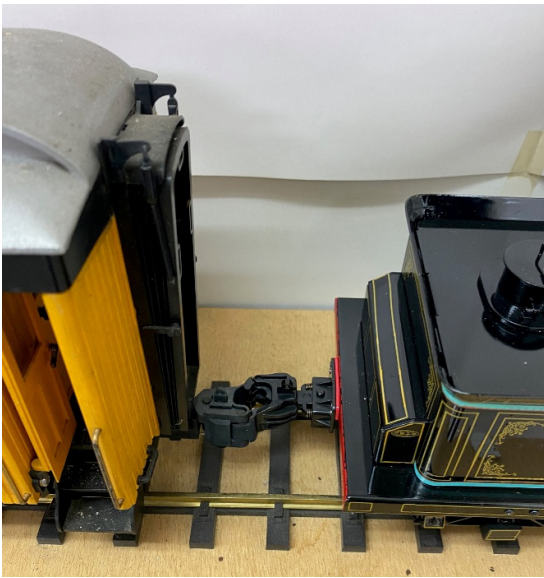
は異質。且つ、かけ離れた、見た目を騒ぐ方が現れたのです。まあ、映画。ゴールデンカムイの影響なんですけどね！皆様はどのようにお考えでしょう？(私、この様な、価格上昇に繋がる、些末な事は、無視しようと考えています)因みにモデルではナローのプラ製 G ゲージ客車との連接を考え G ゲージ用のナックルカブラーと、展示用のドローバータイプの物を簡単に付け代えられるように考えております。

部品を寄集めた“だけ”の静態型なのに対し、京都の義経は、オリジナル図面を元に製作された動態モデルなので、義経を原型に求めたのですが、「しづか」は、ファナティックなお客様が、これでもかっ！と高解像度の写真を送ってきたので、作成を決めたに過ぎませんでした。唯、『しづか号』エンジンの見た目は、番号以外「義経(オリジナル)」だったので、踏み切ったのですが、ここに来てタンダーの見た目(工具箱の有無)が大きく違う事を指摘されました。そんなライブモデルの本質と



US Porter version





さて事前予約のお客様は、1ドル 100 円で換算した価格で御提供しますが、販売開始後のお客様には、為替をそのまま載せた価格でご提供し且つ、米国～日本間の送料や関税も、ご負担頂きます。予約者は工場(中国)日本間の送料しか掛かりませんので、この費用は、弊社が負担します(唯、消費税と国内送料はご負担頂きます)是非、未だ、間に合います。国鉄型7100のご予約をお願い致します。新規ご予約のお客様は、ここの最下段を確認してください。<https://www.asterhobby.com/index.html> 尚、電動完成品は、皆 US ポーターモグール仕様になります。尚、US Porter mogul のライブモデルは JNRType7100 より若干お高くなります。ヘッドライトを点灯可能仕様にするためです。電動完成品の価格は Live Kit に準拠します。(フリードライブモデルではなく、ダミースモークもないですが、DCC レディにはすると思えます。)

詳しい仕様はここをクリック:<https://www.asterhobby.com/product/view/40>

予約されている方の確認は(但し日本語で):info@asterhobby.co.jp こちらで

SNS から、こう言った繋がりが日本には無いですよねえ…

残念ですが、戦後の自由主義を個人主義と履き違えた日本人が多く。特に趣味の世界では多いと思います。(ただ欧米でも政治の世界で多いんですよ！これが)明治創世期では、広く「万機公論に決すべし＝独裁を否定し、新しく透明性を持って運営されること」が、コモンセンス(常識)だったはずですが、1910年辺りから日本人は、この様な考え方を忘れ、1945年の敗戦後「多様性」を忘れ、個人の人権を守る事が『1番』と、自由主義と民主主義の根本を履き違えています。ただ欧米の市井の(趣味の)世界では、未だ、こんな考え方が『生きて』いて、皆さんが

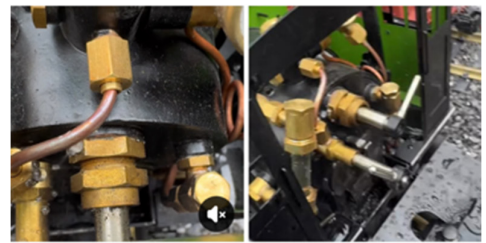
寄^たって集^{って}「ああでもない！こうでもない！」と言い遭える場を民間が！維持しています「親方日の丸」長いものには巻かれないんですよ、権力者の意思を端から疑ってかかる姿勢こそが、趣味の世界では特に重要な姿勢なんです。因みにここでは、C18の石炭焚機のボイラーリークの対処法を、皆さんが寄って集ってご指南しています。勿論、その指示に従って、この方は、対処できた様です。こうやって、ローテクな趣味の世界も。ハイテクな環境下で広がりを見せ市民権を獲得していくのです。日本は趣味の世界が狭く、すぐ、趣味に走る人間を『おたく』とレッテルを貼り排除し、排除された「オタク」も、狭いコミュニティーの中でマウントを執ろうとし、異物排除、客観的に観て変な、純化政策を採りがちです。で、益々趣味の世界は狭まるのですが、これは個人の資質だけではなく、社会環境が大きいかとも考えています。で弊社は日本での布教活動をやめたのです(なんてね)。

すみません、くそ政権の政策で狂乱物価(円安)が止まりません…

弊社の努力では如何ともし難いです、アクセサリー類の価格が変わっています <https://www.asterhobby.com/product/index/14>



Looking for guidance: I started firing up my coal fired C-18 from Accucraft just a few minutes ago and this area around the throttle started pissing water. The engine has only been operated 3-4 times since purchasing. Any idea how to address this/fix it? The locomotive is brand new. (And yes I did drop the fire immediately after seeing this.)



いいね! コメントする 送信

Wayne Colleranさん、他11人

関連度の高い順

Brandon Pena · 6日
Looks like the fiber washer blew out. Take the handle off, back off the gland nut, and remove the packing gland itself with a 6 point deep well metric socket. Use a new Copper Washer if you have one the right size, along with a bit of teflon tape and/or a tiny dollop of pipe dope on that as a belt and braces approach. Or you could use Loctite 545 Straight Thread